

日本退職教職員協議会
各単会 会長様

日本退職教職員協議会
会長 西澤 清

「11・29 辺野古に基地は造らせない大集会」への参加要請

日頃からのご活動に敬意を表します。

翁長沖縄県知事の公有水面埋め立て承認取り消し処分に対して、政府は行政不服審査法に基づく審査請求および承認取り消し処分の執行停止申立てと地方自治法に基づく代執行の手続きに入ることを閣議決定しました。その後、国土交通大臣は承認取り消し処分の執行停止を決定し、代執行に向けた是正の指示を沖縄県に出しています。代執行の手続きでは工事が進まなくなるために、あえて法的な問題点が指摘されている行政不服審査法を援用し、いったん承認取り消しの執行停止決定を出し、無理矢理に辺野古埋め立てに向けた工事に再着工したのです。法治主義を無視する安倍政権を許すわけにはいきません。

昨4日には、警視庁の機動隊員100人以上が米軍キャンプ・シュワブゲート前での警備活動に投入されました。ゲート前に県外の機動隊が加わるのは初めてです（従来多くて100人規模だった警備体制がこの日は200人超に）。ゲート前で抗議していた男性が公務執行妨害容疑で現行犯逮捕されました。転倒して救急搬送される人も出ました。

一方、新基地建設の埋め立て予定地内（2月に文化財「礎石（いかりいし）」が見つかった現場の近く）で土器や石器が発見されました。「常々『法治国家として粛々と進める』と述べている菅義偉官房長官のことだ。むろん文化財保護法の規定はご存じだろう。同法は遺跡や文化財が見つかった場所付近の工事について、文化財の有無を確認する試掘調査と文化財を記録する本調査を義務付けている。よもや法を破ることはあるまい。時間を惜しまず、キャンプ・シュワブ内を徹底調査するのが当然の帰結である。」と琉球新報社説は述べています。

平和フォーラムも参加する実行委員会は、翁長県知事の決断を支持するとともに、法治主義を無視する日本政府の対応を糾弾する標記の集会を行います。日退教各単会（関ブロ近県単会）におかれましても参加していただきますよう要請いたします。

記

11・29 辺野古に基地は造らせない大集会

- 1 日時：11月29日（日）13時開場 13時30分集会開始
集会後デモ 15時15分デモ出発予定

- 2 場所：日比谷野外音楽堂
(日退教は舞台に向かって左側を予定)
- 3 主催：止めよう！辺野古埋立て 国会包囲実行委員会
協力：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会
- 4 参加要請：関東ブロック近県単会（埼玉、千葉、東京、神奈川、千葉高、
東京高、神奈川高）各単会 1 名

以上